


受賞者氏名	野田 岳仁	
所属	現代福祉学部 福祉コミュニティ学科	
受賞年月日	2022年8月30日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	公益財団法人河川財団	
受賞名	令和4年度河川財団優秀成果表彰	

令和3年度に河川財団より助成を受けた「江戸時代の名水番付からみたアクアツーリズムの本質的価値の探求」の研究成果に対して優秀成果表彰を受けた。本研究では、江戸期の京都の名水番付「都名水視競相撲」(1802年)をとりあげた。この番付が興味深いことは、現代的な感覚からすれば決して名水とは呼べないような池や沼が上位に、湧き水や井戸水が下位に格付けられていることである。現代の名水の評価基準とは明らかに異なっており、なぜこのような逆転現象が起こっているのか、その理由を分析した。江戸期の地誌や古地図などによる史料分析および現地でのフィールドワークを通じて、198の名水を特定し、番付の上位には和歌の歌枕や歌詠みの名所が位置づけられていることを明らかにした。そのうえで、当時の人びとの名水に対する価値観を探るため、中世歌論や本居宣長をはじめとする国学の歌論に視野を広げながら、名水とはなにかを問い直し、アクアツーリズムの政策論を構想した。

受賞(研究)内容詳細



都名水視競相撲 (筆者所蔵)